

救急車の適正な利用にご協力をお願いします！

119番通報の前に・・・「救急車本当に必要ですか？」

津市内の救急出動件数は、年々増加傾向にあります。このような状況の要因の一つとして、救急車で搬送された人の約半数が入院を要しない軽症であり、中には単なる酒酔いや突き指、打撲、切り傷など明らかに緊急性が低いと思われる救急要請も少なくなく、またタクシーなど交通機関代わりに利用するケースなど救急車の不適正な利用が見受けられます。救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときのあなた自身のために、救急車の適正な利用をお願いします。



『かかりつけ医』を持ちましょう！！

『何でも聞ける、相談できる、身近な医師！』それが『かかりつけ医』です。『かかりつけ医』は、日常診療だけでなく、あなたの健康や生活面のことなど、気軽に相談できる健康管理のパートナーです。そして、いざというときに一番頼りになる存在です。

今は健康に心配のない方でも、将来の健康を守るため『かかりつけ医』を持っておくと安心です。



津市消防本部救急課
津市健康福祉部地域医療推進室



ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性あります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある



意識の障害

- 意識がない(返事がない) 又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない



けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

どこの病院に行けばいいのかわからない時は、
三重県救急医療情報センター コールセンター



229-1199

に電話連絡し受診可能な医療機関を確認し、受診予約をしましょう。

応急手当の方法や医療機関の何科にかかればいいのかわからない時は、
津市救急・健康相談ダイヤル24

フリーダイヤル  **0120-840-299** を利用しましょう。

24 時間年中無休、通話料・相談料無料で医師・看護師・保健師などの
専門スタッフが相談に応じます。